

○後発医薬品の使用促進に関する 健保組合等の取組み事例

- ・「ジェネリック医薬品のお知らせが届いたら…」(「健康保険誌 2008.1月号」
記事より抜粋)
- ・「ジェネリック医薬品Q & A」改訂版(健康保険組合連合会 2008.6月発行)

ジェネリック医薬品の「お知らせ」が届いたら…

ジェネリック医薬品の使用促進は、いまや、この国の医療費抑制策の大きな柱となっている。処方せん様式の見直しをはじめ、厚生労働省はあの手この手で施策を講じているが、健保組合も負けてはいない。ジェネリック医薬品の使用促進へ、一歩踏み込んだ取り組みを紹介する。

保険者が注目する 情報提供サービス

「あなたが処方されたお薬をジェネリック医薬品に切り替えたら、窓口負担が〇〇円軽減されます」

こんな情報提供を健保組合がしてくれたらどうだろうか。しかも、実際に処方された先発医薬品の銘柄と、それと切り替え可能なジェネリック医薬品の銘柄を並べて、患者負担額の違いが一目瞭然。被保険者も被扶養者もきつと喜ぶにちがいない。

このサービスを展開するのはDH社

(仮称)。もともと、レセプト情報の解析を得意とする。まず、健保組合から医科と調剤のレセプト画像を預かり、それを電子化。傷病名ごとに医療費を分解し、医科と調剤の突き合わせを行う。そのなかから、ジェネリック医薬品に切り替えたら効果的だと考えられる患者に対して上記のような通知を出す、というサービスだ。ターゲットは、長期間、医薬品の服用を続けている外来患者。院内処方か院外処方かは問わない。中心は生活習慣病であり、がんや精神科疾患など特殊な傷病は除外している。先発品からジェネリックまで、保険適用される医薬品のデータベースがそこに用いられていることは言うまでもない。

「お知らせ」はわかりやすく

このサービスを、現在、すでに30を超える健保組合が実際に利用している。その規模はさまざまで、単一も総合もある。古いところはすでに3年の実績。ニーズは年々高まり、健保組合のみならず国保からも注目が集まっているという。

富士通健康保険組合(神奈川県川崎市)もユーザーの1つだ。平成18年に、このサービスの利用を決めた。被保険者・被扶養者あわせて約27万3千人。18年度の医療費は、医科入院82・56億円、医科外来160・46億円、歯科44・43億円、調剤59・73億円。とりわけ、調剤医療費の伸





様

ジェネリック医薬品使用促進のお知らせ

記号・番号 1234・123456
種別 ご本人

平成19年06月処方分
をジェネリック医薬品に切り替えた
場合の軽減可能額は

最大で

3,141

円

過去の処方実績 (平成19年06月分)		ジェネリック医薬品情報	
医療機関・薬局区分	お薬代 ※1 (3割負担)	左記お薬代から 軽減可能な金額 ※2	
調剤薬局	4,096	2,341	～ 3,141
合計	4,096	2,341	～ 3,141

この明細について/使い方

※3
本明細では、過去あなたに処方された医薬品と、同一成分のジェネリック医薬品を参考までにご紹介いたします。ジェネリック医薬品への切り替えについては、まず医師にジェネリック医薬品の代替処方をお願いし、薬剤師にこの明細をご持参の上、ご相談ください。

過去の処方実績 (平成19年06月分)				今後の処方例 (ジェネリック医薬品情報)			
医療機関・薬局区分	薬価 (原価)	数量	単位	お薬代 ※1 (3割負担)	左記お薬代から軽減可能な金額 ※2	ジェネリック医薬品名 ※4	販売メーカー名 ※5
調剤薬局							
ベザトルSR錠200mg	47.9	126.0	錠	1,810	1,323 ~ 1,504	ベザフィブレートSR錠200mg	日医工
						ベザスターSR錠200 200mg	東和薬品
						ベザテートSR錠200 200mg	沢井製薬
レニベース錠5 5mg	87.4	63.0	錠	1,651	721 ~ 1,311	イントニス錠5 5mg	日医工
						レニベーズ錠5 5mg	日医工
						カルネート錠5mg	東和薬品
						レニメック錠5 5mg	沢井製薬
						レノベント錠5 5mg	沢井製薬
マーズレンS顆粒	18.2	94.5	g	515	297 ~ 326	ガイケール顆粒	日医工
						トワズレン顆粒	東和薬品
						グリマック顆粒	沢井製薬
その他 (ジェネリック処方分)				120			
合計				4,096	2,341 ~ 3,141		

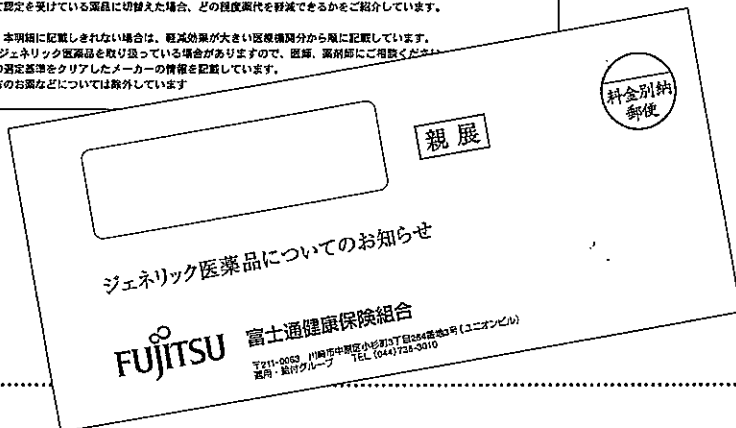
- ※1 薬にかかった金額のみです。実際の医療機関への支払金額には、技術料、指導料、検査費用などが含まれています。国や市町村から医療助成を受けている場合には、実際の支払金額と異なる場合があります。
- ※2 実際に支払った「お薬代」に対して、通知書発行時点でジェネリック医薬品として認定を受けている薬品に切替えた場合、どの程度お薬代を軽減できるかをご紹介しています。ジェネリック医薬品は複数存在する場合があります。
- ※3 本明細は、医療機関・調剤薬局の過去の請求データに基づいて作成されています。本明細に記載しきれない場合は、軽減効果の大きい医療機関分から順にご紹介しています。
- ※4 記載のジェネリック医薬品は一例です。病院や調剤薬局によっては他のメーカーのジェネリック医薬品を取り扱っている場合がありますので、医師、薬剤師にご相談ください。
- ※5 ジェネリック医薬品名および、販売メーカー名は安定供給が確保されているなどの選定基準をクリアしたメーカーの情報を記載しています。
- ※6 上記に記載している医薬品には、がんその他特効薬として使用されるお薬、指定地方のお薬などについては除外しています。

びが顕著だった。池田良晴常務理事は、「医療費は医科も歯科も伸びていたが、調剤の伸びが際立っていた。なんとかしなければと思い、DH社の提案を受け入れ、やってみることに決めた」と振り返

る。この取り組みで、医科外来と調剤の医療費を5600万円削減すること。これが当面の目標だった。さつそく18年11月診療分のレセプト画像をDH社に託して解析開始。対象者を

「ジェネリック医薬品使用促進のお知らせ」の表面と封筒デザイン(右)

33頁に「ジェネリック医薬品使用促進のお知らせ」の裏面を掲載



絞り込み、4月、はじめての通知を6275人に出した。切り替え可能なジェネリック医薬品の銘柄や患者負担額を明示し、その裏面には富士通健保組合の取り組み方針のほか、実際にジェネリック医薬品に切り替えるためのアドバイスなどを記載した。

以後、毎月、この通知を出している。その内容は、少しでもわかりやすいように、改善を繰り返している。封筒にもひと工夫。関心をもって開封してもらえようと、通例の医療費通知などは差別化を図った(前頁参照)。

DH社によるレセプト画像の解析は副次的なメリットも生む。池田常務理事が言うように、「傷病名をテキストデータにしてしまえば、いろいろなかたちで活用できる」のである。現に富士通健保組合では、レセプトデータと健診データとを組み合わせて保健指導に役立てているほか、さまざまな統計・分析が可能



富士通健康保険組合常務理事
池田良晴さん

になっているという。

4人に1人が ジェネリックに切り替え

たいへん興味深い成果が現れている。最初に通知を出した6275人を5月診療分で見たとすると、1629人がジェネリック医薬品に切り替えていることがわかったのである。なんと、4人に1人を超える。この6275人と1629人の集団で比較すると、ジェネリック医薬品の金額シェアは、3・8%から11・6%に跳ね上がった。全国値が5%程度だから、その成果は大きい。

もちろん課題もある。通知を受け取った人、すべてが喜んでくれるとは限らない。なかには、「もう要らない」という反応もある。処方する医師が切り替えを認めなかったり、薬局の品揃えが悪かったりして、ジェネリック医薬品を手にすることができない場合がある。ジェネリック医薬品が望まれない場合もある。とくに手を加えなければ、そうした人に何度も通知を出してしまうことになる。

医療機関や薬局、患者のあいだには、まだ少なからず、ジェネリック医薬品への不安が残っているようだ。池田常務理事



中央が富士通健康保険組合事務局長・平山健二さん
左は適用給付担当課長・椎名茂さん

みを生活習慣病以外の傷病にも広げていくかもしれない。

医療費そのものの適正化も

「この取り組みは効果が出やすい。被保険者・被扶養者に正しい知識や情報を何度も繰り返し伝えて、正しい行動をとっていたことが大切だ」と池田常務理事。また平山健二事務局長も、「通知を送ったグループからは、確実に効果を得られる。アウトソーシングしているため、事務的な負担もほとんどない」という。今年度、5600万円という削減目標を達成できるかどうかはまだわからないが、富士通健保組合はこの取り組みを今

は、この不安を払拭するために、「国がすべて大丈夫だと明言してくればいい」と強く期待する。近い将来そうなれば、この取り組み

ジェネリック医薬品をもっと!



後も続けていく方針だ。しかしその反面、池田常務理事は、「この取り組みが浸透すれば、いつか効果は限界に達するだろう」とも。来年度には処方せん様式のさらなる見直しが行われ、ジェネリック医薬品の普及はそれなりに進むだろうし、その分、医薬品の医療費は節減できるだろう*。ただし、問題は「本丸」。出来高払いの見直しや生活習慣病の予防対策など、医療費全体の適正化対策をより強力に抜本的に行う必要がある。そのためにも、「一人ひとりもつと、医療にコスト意識をもつてほしい」と願う、池田常務理事なのであった。

この富士通健保組合に限らず、

平成20年1月1日発行

〒123-4567 東京都〇〇区××××12-34-56 〇〇〇〇〇〇マンション1234号室
0000000123 *

富士通 太郎 様
被保険者氏名: 富士通 一郎 様

ジェネリック

この通知書に関するお問合せや、既にジェネリック医薬品に切り替え済み、医師に相談したが切り替えは難しい等で通知を希望されない方は、お手数ですが下記までご連絡ください。

富士通健康保険組合 (044-738-3010)

※通知停止をご希望されても、データ処理にかかる時間の都合上、次回の通知書が届いてしまう場合がございます。ご了承ください。

富士通健康保険組合
〒211-0063
神奈川県川崎市中原区小杉町3-264-3 ユニオンビル
0008800123 *

富士通健康保険組合は、ジェネリック医薬品の普及に取り組んでいます

生活習慣病や慢性的な病気で長期間にわたってお薬の服用が必要な方は、ジェネリック医薬品に切り替えることで自己負担を軽減することができます。富士通健康保険組合では、その軽減効果が比較的大きい方へ、本通知書を発行しています。裏面にはジェネリック医薬品に切り替えた場合、お薬代がどの程度軽減できるかの一例をご参考までにお知らせしております。ジェネリック医薬品への切り替えを希望される方は本通知書をご参考に、まずご担当の医師とご相談ください。

現在処方されているお薬をジェネリック医薬品に切り替えるには？

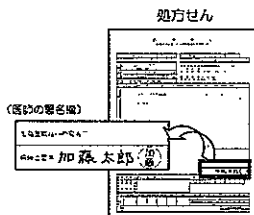
まずは医師にご相談ください。

(例) 「ジェネリック医薬品を希望します」
「ジェネリック医薬品に切り替え可能ですか？」

ジェネリック医薬品を希望される際に知っておきたいこと

- ◆ジェネリック医薬品への切り替えは、処方せんに医師が署名することで処方が可能となります。
- ◆症状や治療方針により、医師の判断でジェネリック医薬品へ変更できない場合があります。
- ◆薬局にジェネリック医薬品の在庫が無い場合があります。

医師、薬剤師と十分にご相談くださいますようお願いいたします。



ジェネリック医薬品とは？

新薬と同等の効き目(※1)で価格は平均すると半額程度(※2)。
患者さんのお薬代負担軽減に貢献するお薬です。

※1 先般医薬品に効能効果が追加された場合、特許の喪失で用法、用量、効能、効果が一時的に異なる場合があります。
※2 医薬品の価格が下がっても自己負担額が先発医薬品使用時と変わらない場合があります(薬剤料などが加算され、高くなることもあります)

こんなときは・・・？

病院や薬局でジェネリック医薬品を取り扱ってなかった...

医師に言い出しづらい...

薬を変えるのは不安だ...

調べる

検索サイト「かんじゅさんの薬箱」で、ジェネリック医薬品のごとや、取り扱っている医療機関・薬局を検索できます。 <http://www.generic.gr.jp/>

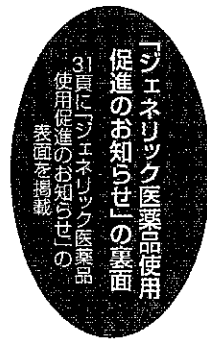
相談する

【ジェネリック通知サポートデスク】へ、ご相談ください。*連絡先は下記参照

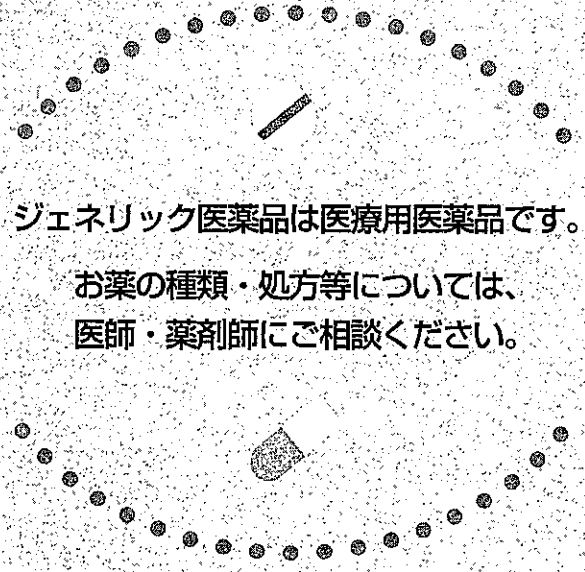
【ジェネリック通知サポートデスク】0120-666-238 (10:00~17:00 土・日・祝日を除く)
【富士通健康保険組合】TEL: 044-738-3010 FAX: 044-738-2225 E-mail: support@kenpo.fujitsu.com

ジェネリック医薬品への切り替えは、ご本人の意思を第一優先するものであり、この通知書により切り替えを強要するものではありません。

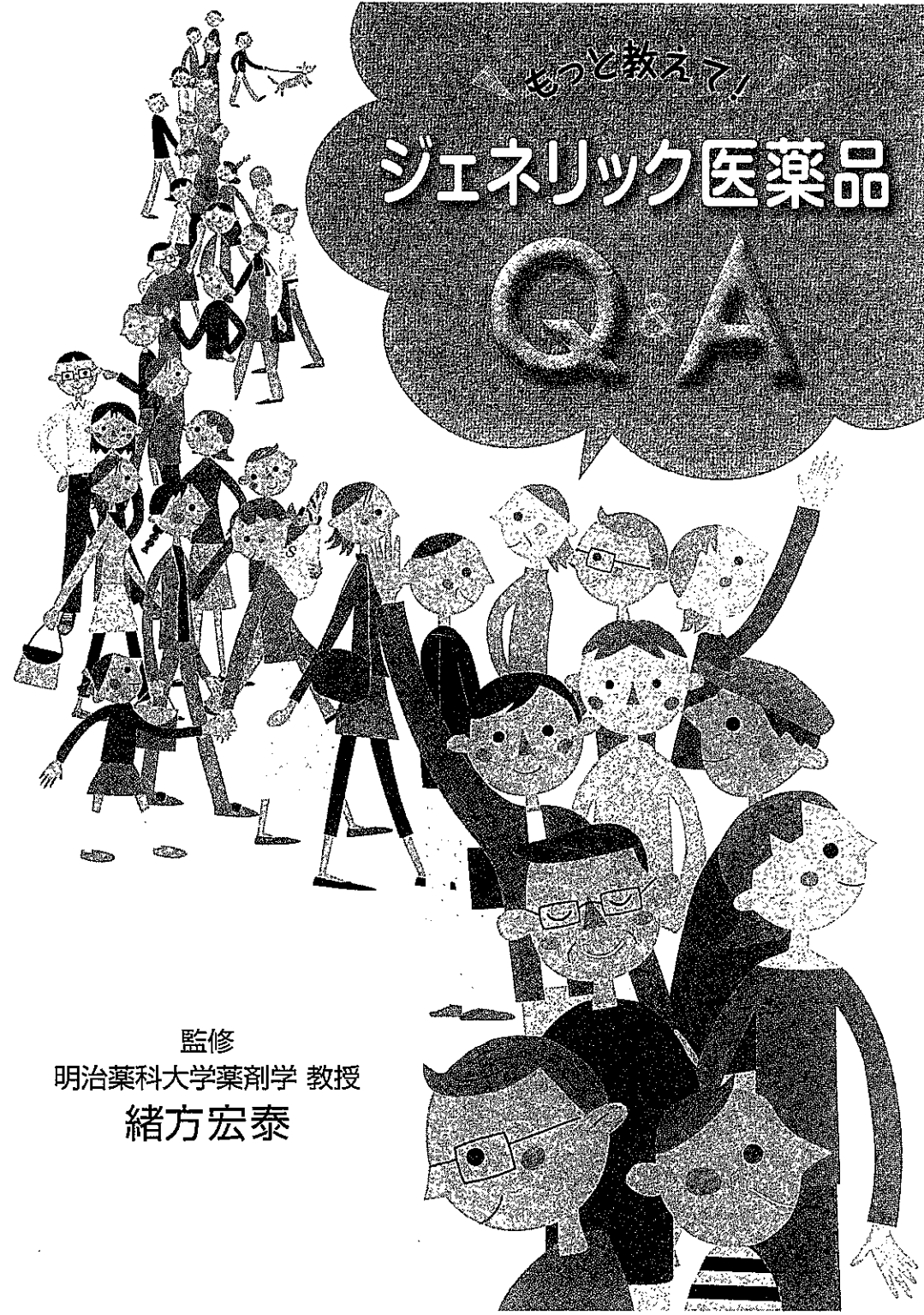
医療費適正化のため、患者負担の軽減のため、そして被保険者・被扶養者へのサービソ向上のため、健保組合は地道な努力を重ねている。こうした個々の保険者機能をよりいっそう高めめるような施策を、厚生労働省にこそお願いしたい。



* 来年度政府予算案では、後発医薬品の使用促進により、220億円の削減効果が見込まれている。



ジェネリック医薬品は医療用医薬品です。
お薬の種類・処方等については、
医師・薬剤師にご相談ください。



もっと教えて！
ジェネリック医薬品
G A

監修
明治薬科大学薬剤学 教授
緒方宏泰

最

近、テレビCMなどでジェネリック医薬品の広告を見かけることが多くなりました。

「新薬と同じ成分、同じ効き目でお薬代が約半分になる」

とのふれこみをお聞きになった人も多いと思います。

では、そもそもジェネリック医薬品とは何なのか、

実は具体的にはあまり知られていないようです。

この小冊子はジェネリック医薬品について

皆さんにわかりやすく、正確に知ってもらうことを

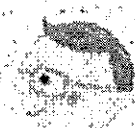
目的に作成しました。

ここで、いま話題のジェネリック医薬品について

一緒に考えてみましょう。



もっと教えて!



- ① ジェネリック医薬品ってどんな薬?..... P3
- ② お薬代が約半分ってほんと?..... P5
- ③ どうしてそんなに安いのか?..... P7
- ④ 効き目と安全性、品質は大丈夫?..... P9
- ⑤ 日本ではどの程度普及しているのか?..... P11
- ⑥ ジェネリック医薬品はいいことづくめ?..... P13
- ⑦ 普及のための行政の取り組みは?..... P15
- ⑧ 医師はどう思っているのか?..... P17
- ⑨ 患者さんはどう思っているのか?..... P19
- ⑩ お薬を決めるのは医師・薬剤師・患者?..... P21
- ⑪ 処方せん様式が新しく変わったのか?..... P23
- ⑫ ジェネリック医薬品を処方してもらうには?... P25

医師・薬剤師の皆様へ

お願いカード

私はジェネリック医薬品を
希望します。

医師・薬剤師の皆様へ

- ジェネリック医薬品に関するご説明をお願いします。
- ジェネリック医薬品の処方が可能であれば、お願いします。

氏名